

QI	転院が必要な患者に対する退院調整部門の介入率
分子	分母のうち、退院調整室・療養福祉相談室が転院調整した患者の総数
分母	転院した患者の総数
根拠	当院は急性期病院であり、急性期治療が終了したものの退院が困難な患者は転院が必要となる。転院に関しては、患者の減少と予後に加え社会背景も考慮し転院先を選定している。医療チーム内に患者の社会背景にも関心を向ける職種が存在することは患者にとって有益だが、一方で治療に直接関与しないためその成果が見えにくい。その成果を数値化し公表することで、退院調整部門の役割と必要性を周知する。（ガイドライン無し）
目標	90% ただし、医師対医師での転院調整があるため、当部署として可能な限り介入できるようにしていく。

